

市民意識調査の結果を報告します

企画財政課企画経営室 ☎ 25 1101

「市民意識調査」とは

市では平成23年度から、市の将来像を「真珠のようにきらり輝く鳥羽」と定め、第五次鳥羽市総合計画に取り組んでいます。その中では「人材育成」や「結婚・子育て」、「安全・安心」などのさまざまな分野ごとに、市民とともにめざすまちの姿として施策目標を掲げています。

めざすまちの姿にどの程度近づいているかを総合的に確認するため、3つの手法を組み合わせた施策評価を行っており、その1つが「市民意識調査」です。

施策評価の3つの手法

市民意識調査

市民のみなさんから、それぞれの施策目標の満足度や重要度をアンケートによりお聞きしています。

内部評価

市の施策担当課で、実施した事業を振り返り、現在の進めかたで施策目標を達成できるか評価します。

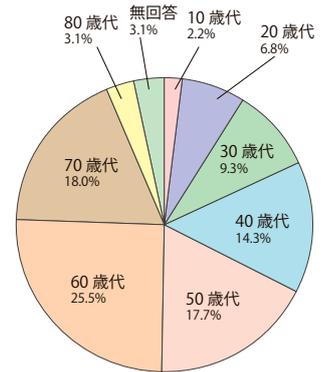
外部評価

外部の有識者で組織される「総合計画審議会」で、事業の評価を行っていただきます。

平成25年度の結果概要

2月に、市内在住の18歳以上の市民1,000人を対象に実施し、322人から回答をいただきました。

年代別では、60歳代以上が約47%と高く、30歳代以下が約18%と低くなっています。



年代別

重要度が高かった施策

- 1位 消防・救急体制を充実する
- 2位 災害から市民生活をまもる
- 3位 いざというときの受診体制を整える
- 4位 安全で安定した水を提供する
- 5位 安心できる社会保障制度を運営する

満足度の高かった施策

- 1位 安全で安定した水を提供する
- 2位 健康づくりに対する意識を高める
- 3位 消防・救急体制を充実する
- 4位 地域ぐるみで子どもたちを育てる
- 5位 資源循環型社会をつくる

重要度が低かった施策

- 1位 地域づくりに歴史文化を活かす
- 2位 市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場所をつくる
- 3位 多様な個性や文化を認め合う精神を育てる

満足度の低かった施策

- 1位 若者の地元での就職や起業を支える
- 2位 将来性のある企業活動・ビジネスを育てる
- 3位 地域産業の経営安定化を図る

●鳥羽市への愛着は？

全体では「持っている」が47.8%と最も多く、次に「どちらかといえば持っている」が33.9%で、約82%の人が愛着を感じています。

●鳥羽は住みやすい？

「まあ住みやすい」が47.8%と最も高く、「住みやすい」と「まあ住みやすい」を合わせると約65%の人が住みやすいと答えています。

●今後も鳥羽に住む？

「ずっと住んでいたい」が52.8%と最も高く、次に「しばらくは住むつもり」が21.4%で、約74%の人が今後も住むと答えています。

●市政で興味があるのは？

市政に「非常に」関心がある」と47.8%のかたが答えており、関心のある内容は「市政の今後の方向性」が33.7%、「福祉や子どもの教育」といった、自分の生活に係ること」が26.4%、「税金の使いみち」が15.3%となっています。

くわしい結果については、市ホームページで公開しています。みなさんからの貴重なご意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。

調査へのご協力ありがとうございました。